

リバーウッド

リバーウッドデッキシステム 施工要領書

沿岸仕様

〈デッキ高さ対応範囲〉=150mm～250mm

地域	海岸からの距離			
	～1km	1～2km	2～7km	7km以上
沖縄・離島	塩害地域			
瀬戸内海	岩礁隣接地域 ※1 ※2	塩害地域	一般地域	
北海道・東北日本海側 ※1		塩害地域		一般地域
その他の地域		塩害地域		一般地域

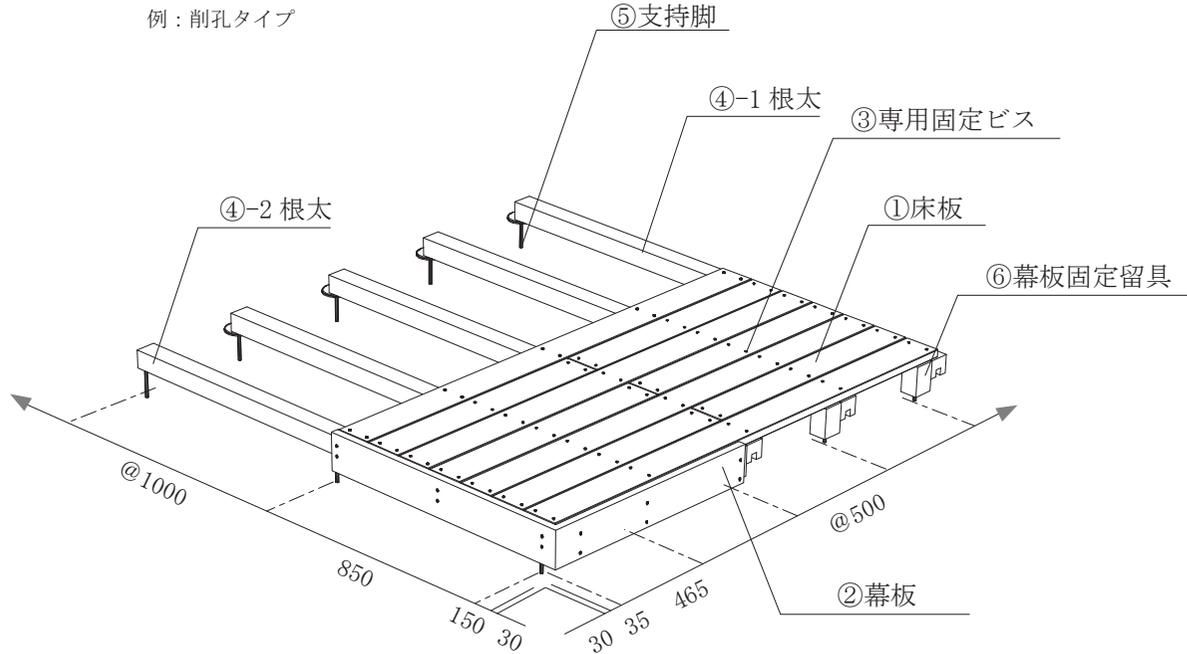
※1：北海道・東北日本海側で海岸からの距離7kmは塩害地域となり、下記地域が適用されます。

- ・北海道：松前町～稚内市
- ・東北：青森県東海村～山形県温海町

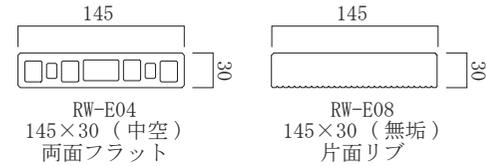
※2：岩礁隣接地域とは、海水のしぶきが頻繁にかかる、もしくは強風時に海水が直接かかる地域を示します。

1. コンクリート盤の清掃・確認
- ▼
2. 支持脚位置の墨出し
- ▼
3. コンクリート盤の穴あけ
- ▼
4. 支持脚設置
- ▼
5. 受けプレートのレベル調整と固定
- ▼
6. 根太材の固定
- ▼
7. リバーウッドデッキ材取付

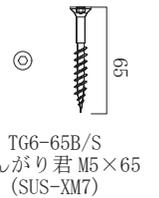
構成と部材



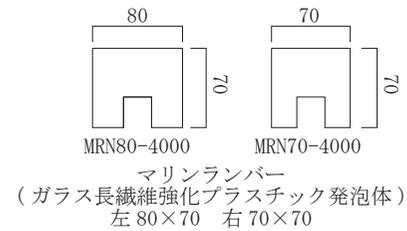
①・②床板、幕板



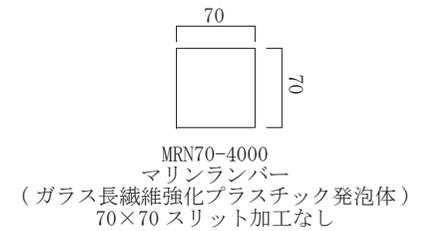
③専用固定ビス



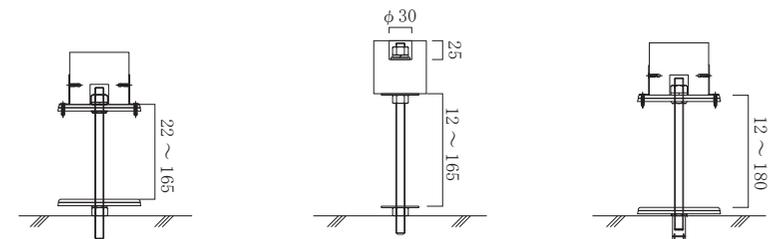
④-1根太
(標準根太部)



④-2根太
(端部根太部)



⑤支持脚



HTS-200
削孔タイプ

■ コンクリート下地等
削孔可能な場合

HTSE-200, AC
削孔・アンカータイプ

■ 主に端部根太部に仕様
(座彫り: φ30, 深さ25)

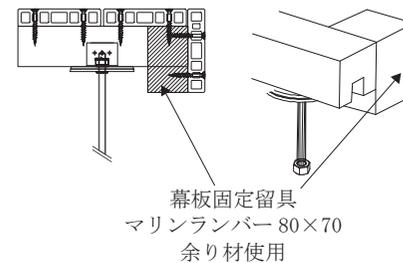
HTS-200AC
アンカータイプ

■ 小面積で急速施工
が必要な個所

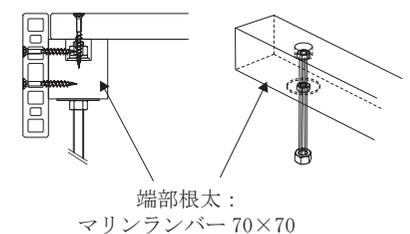
■ 沿岸仕様の施工基準

- ・乗載荷重 3500N(約 350kg)/㎡
- ・支持脚ピッチ@1000mm 根太間ピッチ@500mm
- ※乗載荷重 5000N(約 500kg)/㎡を設定の場合でも変わりません。
- ・デッキ材目地幅 5mm
- ・デッキ材長さ標準 1995mm
- ・リバーウッドの張り方の標準→千鳥配列, 芝目張り

⑥-1 幕板固定留具
(根太木口側)



⑥-2 幕板固定留具
(根太側面側)



施工手順 1：コンクリート盤の清掃・確認 施工手順 2：支持脚位置の墨出し

1 <コンクリート盤の清掃・確認>

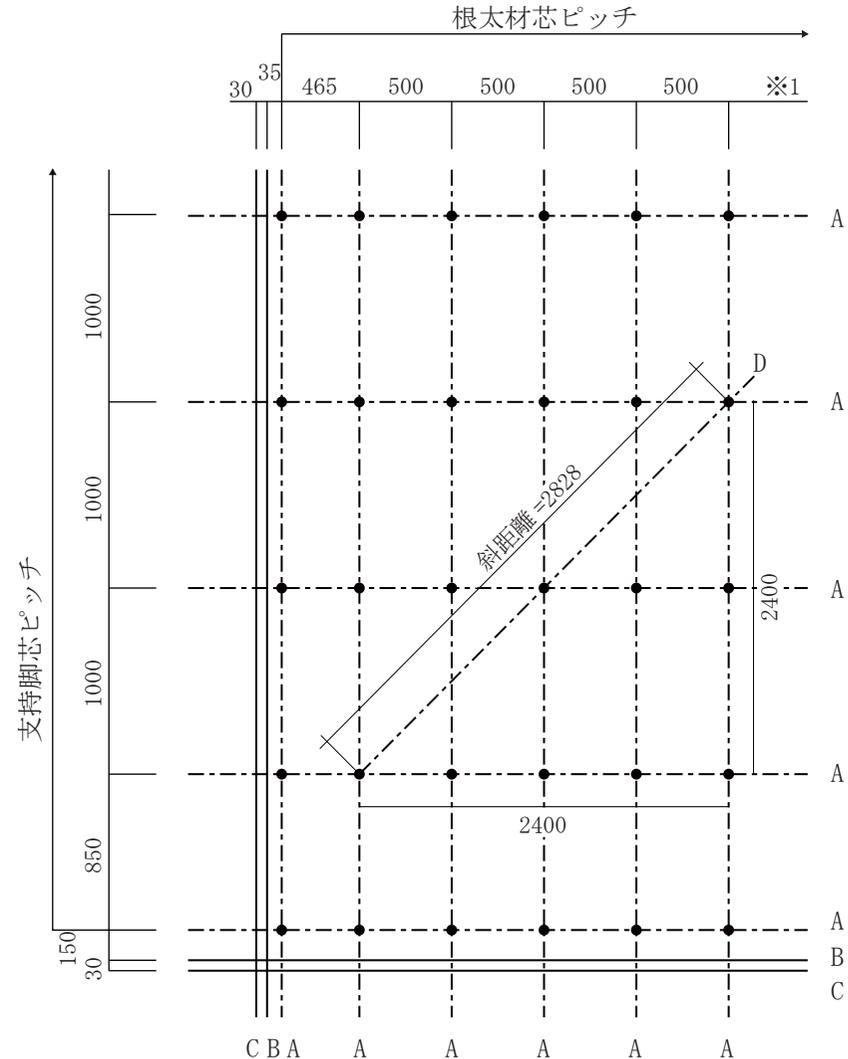
- ・施工箇所を清掃すると共に、コンクリート板の仕上がり状態を確認し、スラブの補修が必要なところは手直しします。
(大掛かりな補修となる場合は、GCに申し出て補修してもらう)

2 <支持脚位置の墨出し>

- ・基準墨に従って、コンクリート盤面に支持脚（調整ボルト）位置の墨出しをして下さい。
※標準割付は右図を参照して下さい。
斜距離を確認し、正確な角度であるか確認して下さい。

※部材片持ちに関する注意点

1. デッキ材 はね出し最大 150mm
2. 根太材 はね出し最大 200mm



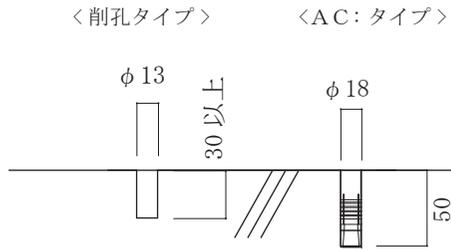
A. 支持脚芯 B. 床板仕上がり位置 C. 幕板仕上がり位置 D. 斜距離確認

※1. 乗載荷重 3500N (約 350kg) を設定とした場合

乗載荷重 5000N (約 500kg) を設定とした場合でも同様の寸法になります。

施工手順 3 : コンクリート盤の穴あけ 4 : 支持脚設置 5 : 受けプレートのレベル調整と固定 6 : 根太材の固定

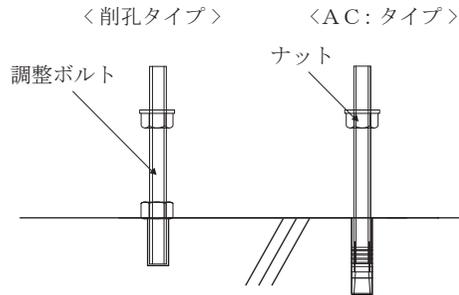
3



＜削孔・AC:タイプ＞

- ・墨出し位置にドリルで穴をあけます。
 - ・ドリルを垂直に構え穴をあけて下さい。
 - ・穴あけ後はブローヤを使用し、穴の中に溜まったコンクリート粉をきれいに除去して下さい。
- ※BP:タイプは除く

4



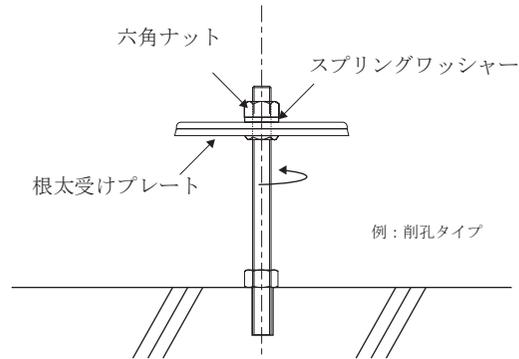
＜削孔タイプ＞

- ・所定の接着剤を使って、ボルト穴に適量 (7.5g/本) 注入して下さい。
- ・調整ボルトを埋め込み、完全硬化 (24時間目安) まで養生して下さい。

＜AC:タイプ＞

- ・アンカーを専用打ち込み棒で打ち込んで設置して下さい。
- ・設置後、ボルトをアンカー穴にしっかりと固定して下さい。

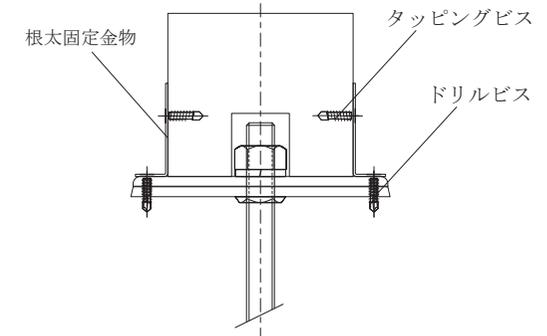
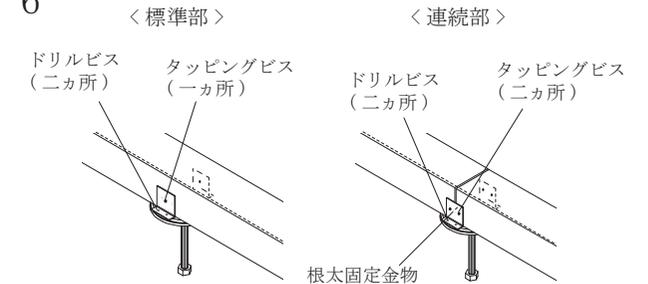
5



例：削孔タイプ

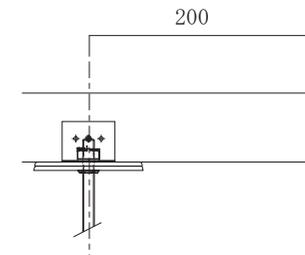
- ・水準器、水系等にて受けプレートのレベルを決めて下さい。
 - ・受けプレートを所定の高さに調整し、しっかりと固定します。
- ※調整ボルトが垂直に設置されていない時は強制して下さい。
- ・調整ボルトが長いときは、切断して下さい (切断後にもレベル調整できるよう、2cmほど余を残す)。

6



- ・根太固定金物 + 支持脚
→M4×16 ドリルビス (SUS410)

- ・根太固定金物 + 支持脚
→M4×25 タッピングビス (SUS304)



※端部のはね出し長さは、支持脚中心より最大200mmまでとします。

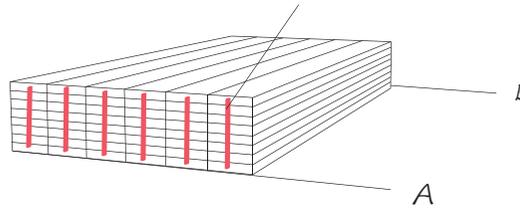
施工手順 7：リバーウッドデッキ材取付

7-1 <「芝目張り」について>

「芝目張り」とは
無表情な再生木材に、意図的に表情を与える張り方です。
デッキの製造工程で、微小ですが表面にサンディングの方向性が生まれます。結果、光の陰影によってデッキ材の向きに表と裏が生まれます。その現象を利用し、板を1枚ずつ交互に向きを変えて張ることで、サッカーコートの芝生のように縞模様の表情が生まれます。

<管理>

目印：マジック（水性）など



板の方向性が揃った状態で搬入されてくるので、あらかじめ水性マーカーなどで向きが分かるよう印をつけて下さい。

<張り方>

A	◀.....	B
B▶	A
A	◀.....	B
B▶	A

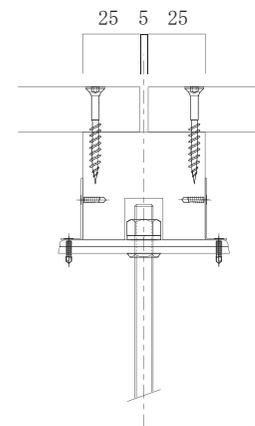
交互にデッキ材の向きを変えながら張って下さい。

7-2 <デッキ材の材長管理について>

デッキ材は熱膨張によって伸びる性質があります。
(夏場では、最大5~6mm伸びる場合もあります)
施工する時期によってデッキ材の長さが異なるので、必ずデッキ材の寸法を測り、適正な材長管理、突合せ目地管理をして下さい。

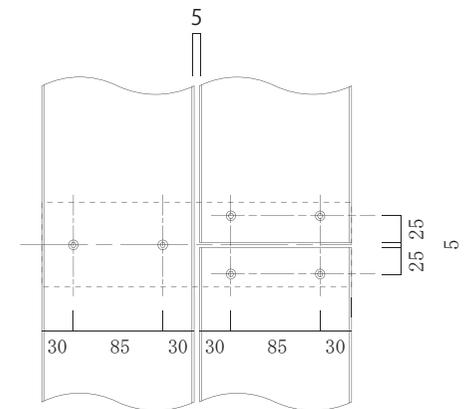
材長基準	突合せ目地	測定寸法	突合せ目地
1995mm	5mm	例：1998mm	2mm
2394mm	6mm	例：2396mm	4mm

図 1. デッキ突合せ部



デッキ突合せ目地 =5mm

図 2. デッキ突合せ+ビス位置詳細図



デッキ横目地 =5mm

施工手順7：リバーウッドデッキ材取付

7-3 デッキの張出し

- 一枚目のデッキの固定位置を決定します。
横目地 5mm (端部 2.5mm : 図1 参照)、突合せ目地 5mm (端部 2.5mm : 図2 参照) を確保して下さい。
- 決定したら、万力などで仮止めし、デッキ固定ビスで固定して下さい。(ビス位置は図1を参照)

※1：ビスの固定方法

ビスの下穴 = φ5 皿取り = φ10

※2：デッキ材の両木口部分は、糸面加工 (1C) をして下さい。

図1. デッキ材割付詳細図1

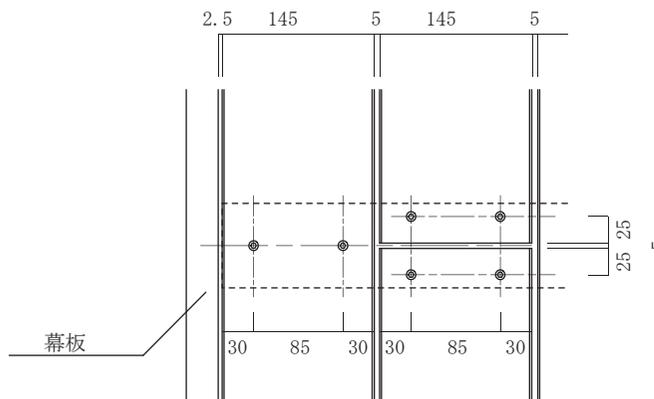
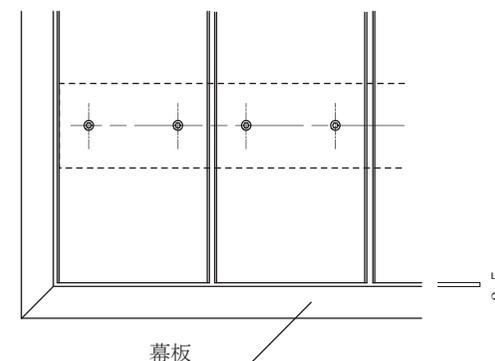
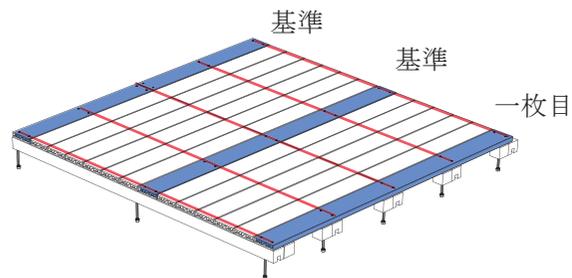


図2. デッキ材割付詳細図2

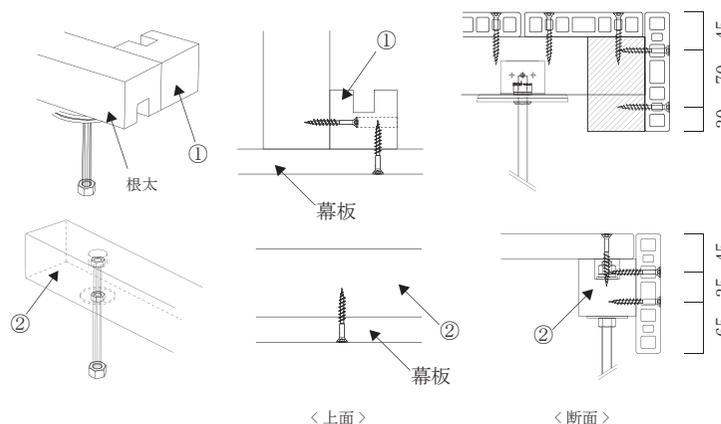


7-4 ビス位置の墨出し



- 一枚目のデッキを固定したら、二枚目以降から等間隔置き (図では8枚間隔) にデッキを固定し、デッキ材のピッチが狂わないよう基準を作ります。
- 次にスペーサー (5mm) を用いてデッキを配置していきます。
- 配置したら、ビスを墨の基準にし、全体のビス位置の墨出しを行い、デッキを固定していきます。
- 以降この作業の繰り返しです。

7-5 幕板固定留具



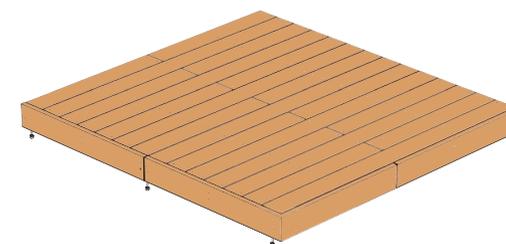
①マリンランバー 80×70 (余り材使用)

②マリンランバー 70×70 (端部根太) 座彫り : φ30, 25

デッキ固定ビス (とんがり君) で固定して下さい。

※幕板固定ピッチ : ①、②=@ 根太ピッチ

7-6 完成



完成後、点検、清掃片付けを行って下さい。

以上で作業終了となります。